

週末は浦高と春日部地区の資料を

●3月の地域職域同窓会責任者会議に向けて!

先週7日(水)に「浦高同窓会会報『麗和』」の第1回編集会議を終えて、木・金・土曜日の3日間は原稿づくりに時間を割きました。特に、今回の特集では、昨年8月30日に埼玉県男女共同参画苦情処理委員から出された「埼玉県立高校において、共学化が早期に実現されるべきである」という勧告に対する同窓会としての議論の経緯やスタンス、さらに在校生や保護者、関係者の皆さんの声や動きをお知らせするという事で、さまざまなメディア等の確認も含めた作業を行い、A4・4ページに収めた初稿を出すことができました。

もう一つは、3年目の特集となった「浦高グラウンドの人工芝化」の状況報告でした。埼玉県教育環境整備基金への寄附金が目標額の6,600万円に達することが確実となったことで、主体の学校側と支援されてきた「浦高スポーツ環境等整備応援プロジェクト」から同窓生の皆様へのお礼の原稿を掲載するもので、こちらもA4・1ページにまとめることができそうで、たたき台を提出しました。

最期に、私の担当となっている「地域職域同窓会責任者会議」のページは、3月23日(祝・金)に行われる第16回会議の予定稿で、今回は新たな同窓会が立ち上がったことでほぼページを埋めることができました。

会員の皆様には、4月下旬の会報『麗和』の到着をお楽しみにお待ちいただければ幸いです。

さて昨日は、その「地域職域同窓会責任者会議」に向けて春日部地区浦高会のPR用資料「2023年の活動」(A4・2ページ)を作成しました。

春日部地区浦高会の活動から

2023年の活動

【2024年3月23日 地域職域同窓会責任者会議用資料】



1. 活動報告

【総会】2023年9月3日(日)第23回総会
4年ぶりの対面形式 ご来賓3名、会員20名参加
第23回総会は、新型コロナウイルスの第5類感染症移行により、4年ぶりに対面形式での会議となりました。ご来賓には、野田 博同窓会会長、篠田雅彦事務局長、平井隆一浦高浦高会会長がご臨席くださいました。そうした中で、以下の全議案が承認・可決されました。

- ◆【令和5年度 春日部地区浦高会総会議案】
- ◆第1号議案 令和4年度事業報告及び決算
2023年3月の賀詞交歓会以降、対面形式での事業が復活し、総会、幹事会、ゴルフコンペなども開催。決算では25万円余の収支がありました。
- ◆第2号議案 令和5年度事業計画及び予算
総会、賀詞交歓会、ゴルフコンペなど例年通りの事業計画と60万円余の収支予算です。
- ◆第3号議案 令和6・7年度同窓会役員候補の推薦
由木 智副会長を代議員に推薦しました。



【賀詞交歓会】

◆2023年3月5日、賀詞交歓会 参加15名
3年ぶりに会員の皆さまと元気にお目にかかることができました。最長92歳〜46歳。



【幹事会】

◆2023年6月4日(日)、幹事会 参加8名
幹事会では令和5年度の総会の開催や第42回ゴルフコンペ等を協議し、何とか開催に向けて調整していくことを決定しました。



【百年の森づくり参加】

◆7月15日、夏の森林整備 参加3名
夏の森林整備には、3名が参加しました。石塚善幸さんは波久礼駅から登山、石田さんの皆勤賞も続き、伊藤さんも元気に参加です。



【ゴルフ】

◆11月12日秋の森林整備 参加2名
全体で51名が参加された秋の森林整備、昼食後は富田千穂さん(19回)の歌唱があり、森に響くバリトンを楽しみました。帰路にはみかん狩りも。石田さんの皆勤賞は続いています。



◆11月9日(水)、秋のコンペ 参加5名【坂東ゴルフクラブ】
◆夏のコンペは中止
令和5年度は、久しぶりに秋のコンペを開催することができました。

【広報活動・会報『喫茶去』】

【会報『喫茶去(きつこ)』】2023年1月〜23年12月までに13号を発行しました。
◆「皆さんからの近況報告を聞いて」138,382号
◆「新しい地域職域同窓会も増えて」1326,383号
◆「活動盛りなりや、私心なぞも」1416,384号
◆「いままでは在ることを楽しむ」1524,385号
◆「今年も「浦高さん」活動が始まり」1656,386号
◆「浦高同窓会令和5年度総会」1626,387号
◆「最高の人生を過ごすための健康」1627,388号
◆「知恵と気遣いの「世代間継承」」181,389号
◆「浦高同窓会、動き出した初冬の陣」1111,390号
◆「45年の歴史の重み、さらに次へ」1112,391号
◆「我ら年内に帰省し、親族を拜ふ」1113,392号
◆「春日部地区浦高会、2024年へ」125,393号
◆「会報『麗和』と絡める感謝の1年」11217,394号

【個人記録「夏祭冬祭(かとうせん)」】浦高生やOBの活躍関連記事も増えており、2023年1月から1年間で68号を綴りました。「夏祭冬祭」はネットには著作権等の関係で掲載できない個人記録です。

- ◆同窓会本部の活動を綴りました (7号)
- ◆「コロナ禍こそ思い出を大切に」117, No.6248
- ◆「何事も「遅い」ということは…」139, No.6321
- ◆「不合理で行き過ぎたルール…」1622, No.6421
- ◆「百年の森にオーボエが響いて」1715, No.6446
- ◆「先輩たちの話を聞いて…」1817, No.6468
- ◆「さまざまな選択こそ魅力では？」1012, No.6518
- ◆「埼玉県内の公立高校の共学化」1125, No.6553
- ◆浦高25周年(同期会)の活動を綴りました(8号)
- ◆「卒業50年の同期会への助走」1330, No.6343
- ◆「桜を求めて1400キロの旅費」1473, No.6348
- ◆「卒業50年を振り返る旅」1411, No.6354
- ◆「青春茶室では落ち着けない」1416, No.6364
- ◆「卒業50年記念同窓会・準備会」1924, No.6489
- ◆「今週末は戻って50周年同窓会」1120, No.6550
- ◆「浦高生たちの夏祭の思い出」1128, No.6555
- ◆「胸襟を聞いて昔に思いを馳せて」1128, No.6556
- ◆「地域職域同窓会の記事を書きました (4号)」
- ◆「こぼれが落ちていくこと喜び」1225, No.6310
- ◆「晩年の鎌倉を歩いた浦高浦高会」1416, No.6362
- ◆「1か月後に「鎌倉散策〜紅葉編〜」」11/1, No.6596
- ◆「大人の胸には欠かせないもの」11214, No.6576
- ◆浦高生たちの活躍を綴りました (8号)
- ◆「コロナ禍こそ思い出を大切に」117, No.6248
- ◆「復活した浦高応援団の雄姿を」1419, No.6368
- ◆「浦高生や教員の皆様への考えを」1421, No.6372
- ◆「母校を盛り上げる生徒たちの姿」1424, No.6375
- ◆「若人に代々引き継がれるエール」176, No.6436
- ◆「高松生たちの夏の思い出」1711, No.6441
- ◆「さまざまな思い出を乗せた白球が」1714, No.6444
- ◆「母校生徒の活躍がドラマとなって」1715, No.6445
- ◆浦高同窓生の皆様との交流です (23号)
- ◆「江戸川家項白流の近況に思いを」11/10, No.6251
- ◆「岸田晴香さんのことを思い出して」11/12, No.6253
- ◆「周年という節目を修めるために」11/12, No.6254
- ◆「立志」を揮筆しての感想を」11/12, No.6255
- ◆「歴史を探る面白さと魅む大切さ」11/12, No.6256
- ◆「幅広い分野のお話を愉しんで」11/12, No.6257
- ◆「杜甫の詩から「乾坤」を考えると」11/15, No.6261
- ◆「白く黒ではない中間色の味わい」12/23, No.6337
- ◆「日本語で最も大切な声なのだよ」12/20, No.6396
- ◆「今回も皆さんから多くの学びを」15/21, No.6397
- ◆「日本人の忘れぬを取り戻そう」16/29, No.6426
- ◆「心の風雲に舞う「頂上」は広くて」17/13, No.6443
- ◆「『まなび』と『遊び』を同一線上で」17/16, No.6447
- ◆「『真善』に「みづつ」の生き方」17/22, No.6449
- ◆「夏の想い、夏にまつわる話から」19/17, No.6483
- ◆「成長の夏には旅やキャンプが…」19/17, No.6484
- ◆「夏の寺子屋、ヒゲラシ、ラムネ」19/17, No.6485
- ◆「コラムから自分の心を振り返って」19/18, No.6486
- ◆「卒業50年を振り返る旅」11/13, No.6545
- ◆「200年超えの人の心が今へ」11/29, No.6558
- ◆「富田千穂さんが Wikipedia へ」11/29, No.6557
- ◆「ものを愛するのは自分だけの仕事」11/30, No.6559
- ◆「やはり虫は苦手かもしれません」11/30, No.6560
- ◆浦高人材情報をご紹介しました (18号)
- ◆「『僕(はた)』は『僕(はた)』にすること」12/5, No.6284
- ◆「超一流には「継続力」が「主力」が」12/11, No.6305
- ◆「地域に合ったG.O.の哲学を」12/28, No.6306
- ◆「おはよう、ありがとうから結果を」12/28, No.6312
- ◆4代目の先住様は知らなかった13/7, No.6318
- ◆「村井清さんの新撰集を楽しみに」13/10, No.6324
- ◆「1年間の留学生活が現在に至り」14/7, No.6352
- ◆「そろそろ各人は、頭の構造も…」14/21, No.6374
- ◆「こころの風雲を散らす手」16/10, No.6469
- ◆「思い出が書き出した旅を楽しんで」16/14, No.6412
- ◆「僕が書き出した旅を楽しんで」16/14, No.6413
- ◆「何事も書き出した旅を楽しんで」16/14, No.6414
- ◆「『つな』を想起しながら仕事に」17/1, No.6430
- ◆「『つな』を想起しながら仕事に」17/1, No.6431
- ◆「若者がかりで大人の皆さんも」17/12, No.6442
- ◆「何故、送り続けるのかと問う」18/13, No.6467
- ◆「『イモ博士』井上浩先生を偲んで」19/25, No.6491
- ◆「子ども心を強くするため全力で」11/04, No.6502

2. ホームページ

HP 浦高同窓会ホームページ「春日部地区浦高会」
メール torutakei@outlook.jp

これまでに15年間にわたり15回の責任者会議が開催〔コロナ禍2年間は書面のみ〕されていますが、春日部地区浦高会では毎回、この資料を印刷してご説明させていただいてまいりました。資料づくりは、竹内事務局長にバトンタッチと思っていたのですが、

「香田会長がデータを集められていて、状況を一番詳しくご存じなのでよろしくお願ひします」としっかり依頼されてしまいました。私がこういうことを嫌いではないので困ったものです。4月21日(日)に開催予定の「利根川水運の要・関宿を巡る旅」(久喜麗和会との共同小旅行予定)の調整も私の担当にほぼなってしまいました。【相変わらず!】



関宿城博物館(4月小旅行先) 関宿水閘門